

平成30年度 保健医療学部 推薦入試 小論文 問題用紙
【救急医療学科】

問題（試験時間:60分）

世界規模で自然災害の件数が増加している。大規模地震や津波の被害が発生し、毎年、世界では、約1億6千万人が被災し、約10万人の命が奪われ、1970年代に比べて、発生件数、被災者数ともに約3倍に増加している。

日本では平成7（1995）年阪神淡路大震災や、平成16（2004）年新潟県中越地震、平成19（2007）年新潟県中越沖地震、そして平成23（2011）年東日本大震災、平成28（2016）年熊本地震、平成29（2017）年7月九州北部豪雨などで多くの方が被害に遭われている。

今後、必ず起こると言われている首都直下型地震や南海トラフ地震などの自然災害に対して、救急救命士がどのように貢献できるか600字以上、800字以内で考えを述べなさい。